

予算編成の基本的な考え方

1 国の当初予算と地方財政対策

内閣府が公表した平成28年1月の月例経済報告では、「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」としています。

そのような中で、景気は「緩やかな回復基調」とあるものの、生産活動の弱含みなどによる経済環境の厳しさから、個人消費の回復は地域間でばらつきがあるのが現状です。

国の平成28年度当初予算案は、一般会計予算規模を9兆6千7億2千18億円（前年度比0.4%増）で「経済再生と財政健全化を両立する予算」とし、平成27年12月24日に閣議決定されました。

歳入では、税収の増を見込んだことから、新規国債の発行を前年度から2兆4千310億円減額し、3兆4千320億円（前年度比6.6%減）、公債依存度は、2.7ポイント下がって35.6%とリーマンショック以前（平成20年度予算）の水準まで回復しています。

また、歳出では、社会保障関係費の伸びを「経済・財政再生計画」の目安に沿って抑制されたものとなっています。

地方財政計画の規模は、8兆5千7億700億円（前年度比0.6%増）であり、経済の緩やかな回復基調から地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加するものの、社会保障関係経費の自然増などにより、収支の不足額は5兆6千63億円で、うち3兆7千880億円を臨時財政対策債の発行により補てんすることとしています。

2 当初予算編成の基本姿勢

平成28年度においては、第6次知立市総合計画の将来像である『安らぎ・にぎわう 住み良さを誇れるまち「輝くまち みんなの知立」』や知立市人口ビジョン・まち・ひと・しごと総合戦略推進の実現に向けた事業などに限られた財源を有効に活用し、優先順位を決め予算編成を行いました。

また、平成28年度税制改正案による法人住民税法人税割の国税化の影響など、今後の国・県の動向に注視しつつ、ふるさと応援寄附金をはじめとした新たな歳入確保、施設の設備にかかる保守点検等の包括委託による事務軽減を図るなどの行政改革を推進し、財政運営の一層の効率化を図り「賢い支出」に結び付けていく必要があります。

そのような中で、予算の編成を行うに際しては、財政の弾力性を示す経常収支比率（平成26年度決算）が愛知県内38市中34位となり、財政の硬直化が進んでいる厳しい財政状況下である危機感を十分認識し、積極的な歳入確保又は歳出削減案を全ての係が提案し情報共有して全庁的实施を図るなど、長期に渡って安定的かつ健全な財政基盤の確立を基本姿勢としているところです。

3 当初予算の概要

予算の規模は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で381億1,970万円（前年度比3.0%増）と過去最高額の予算となりました。内訳は、一般会計241億円（前年度比2.8%増）、特別会計121億2,670万円（前年度比2.2%増）、水道事業会計18億9,300万円（前年度比10.4%増）となります。

4 一般会計の概要

歳入面では、市税全体は115億7,053万2千円で、前年度当初予算から4億3,357万8千円の増額（前年度比3.9%増）を見込んでいます。

普通地方交付税は、交付実績及び推計予測から2億円で、5,000万円の増額（前年度比33.3%増）を見込んでいます。

国庫支出金は37億6,274万7千円で、年金生活者等支援臨時福祉給付金に係る補助金、保険者支援負担金などにより1億9,249万円の増額（前年度比5.4%増）、県支出金は15億6,099万8千円で、市街地再開発事業費補助金、再生可能エネルギー等導入推進事業補助金などにより7,579万5千円の増額（前年度比5.1%増）を見込んでおります。

寄附金は5,002万5千円で、ふるさと応援寄附金5,000万円を見込んだことにより増、繰入金は17億9,706万9千円で、財政調整基金及び都市計画施設整備基金繰入額などの増により、5,037万7千円の増額（前年度比2.9%増）を見込んでいます。

市債は19億6,240万円で、知立連続立体交差事業をはじめとする知立駅周辺整備事業費の増に伴う市債が増額したものの、5,000万円の減額（前年度比2.5%減）としました。

一方歳出面の目的別増減は、総務費では、庁舎空調改修工事实施などにより1億4,766万4千円の増額（前年度比7.7%増）、民生費では、年金生活者等支援臨時福祉給付金の実施などにより、1億8,454万4千円の増額（前年度2.2%増）、土木費では、知立連続立体交差事業をはじめとする知立駅周辺整備事業費などの増により3億1,052万4千円の増額（前年度比5.8%増）、公債費では、市債残高の増加に伴う返済金額の増により、

1億1,810万8千円の増額（前年度比8.2%増）を計上しました。

性質別増減は、義務的経費では、扶助費が前年度比0.2%増で推移しているものの、公債費及び人件費の増により1億8,070万1千円の増額（前年度比1.8%増）、投資的経費では、2億5,403万5千円の増額（前年度比6.0%増）、その他経費では、物件費がふるさと応援寄附金返礼品等支払、コンビニ証明発行システム連携、固定資産税評価替鑑定評価調査等による増額に加え、補助費等が年金生活者等支援臨時福祉給付金などの増額により1億6,278万4千円の増額（前年度比7.2%増）を計上しています。

次に平成28年度からの新規・拡充、継続している主要事業として、

『第1章 人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり』においては、

- ・生活困窮世帯を対象とした子どもの学習支援事業
- ・成年後見制度の利用に関する相談や支援を行う成年後見支援事業
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設経費を補助する地域密着型サービス施設等整備支援事業
- ・低所得の高齢者等に給付金を支給する年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業
- ・災害時の活動拠点となる保健センターに太陽光発電設備及び蓄電池を設置する再生可能エネルギー発電設備等設置事業
- ・医療救護所及び保健センターに医薬品等を備蓄する災害用医療対策事業
- ・新たに住宅用燃料電池システム等への補助を拡充する住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業
- ・環境分野全体の基本計画となる第2次環境基本計画策定事業
- ・一般廃棄物の排出抑制及び適切な処理の推進を示す一般廃棄物処理基本計画策定事業
- ・気象情報及び地震情報（外国語含む）をメール配信により市民等へ伝達する防災情報メール配信事業

『第2章 人々が集う交流のまちづくり』においては、

- ・農業体験の場を提供する市民農園の整備事業
- ・観光振興の推進を目指す観光振興計画策定事業
- ・樹齢30年を超えた街路樹を植え替え美しい並木道へと再生する美しい並木道再生事業
- ・歩行者の安全確保等を図るための知立中央通線道路改良事業及び東上重原西中線歩道整備事業
- ・100年の一度のまちづくりとしての知立連続立体交差事業、これに伴う周辺整備として知立駅周辺土地区画整理事業、知立環状線整備事業、西新地地区土地利用計画調査事業及び知立駅南土地区画整理事業
- ・知立駅北地区市街地再開発組合に施設整備費等の補助を行う知立駅北地区市街地再開発事業

・竜北中学校グラウンド代替用地購入・整備を行う知立連続立体交差関連事業

・市内の空家等に対する実態調査を行う空家対策事業

『**第3章 次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり**』においては、

・要保護児童家庭等へのきめ細かな支援のための家庭児童相談員増員事業

・待機児童の解消を目的とした民間保育所施設整備事業費補助事業

・知立保育園の屋根防水工事を行う保育園保全事業

・放課後児童の健全育成を図るための来迎寺児童クラブ等増設実施設計事業及び花山児童クラブ拡張事業

・出産前後の母子保健事業の充実を図る子育て支援交付金事業

・35人学級を小学校全学年まで拡充する少人数学級事業

・快適な教育環境整備を目的とした知立東小学校グラウンド整備事業

・知立南中学校弓道場整備事業

・生徒の安全性の強化を図るため竜北中学校の大規模改造工事を行う中学校保全事業

『**第5章 芸術や文化を大切にすまちづくり**』においては、

・文化財の総合的な保存・活用をするための歴史文化基本構想策定事業

・老朽化した舞台吊物機構P L C等の更新を行う文化会館改修事業

・「全国人形浄瑠璃の祭典 i n 池鯉鮒」開催のための支援を行う国民文化祭知立大会事業

・山、鉾、屋台行事のユネスコ無形文化遺産登録記念事業

・福祉体育館トレーニング室のランニングマシン等を更新するスポーツ機器等導入事業

『**第6章 知立が輝くための仕組みづくり**』においては、

・議会及び市政への関心をより高めるために委員会室のシステム整備事業

・職場環境の向上を図り事務の効率化につなげる庁舎空調改修事業

・公共施設等総合管理計画の策定等を行う公共施設のあり方検討事業

・個人番号カードの普及促進及び住民サービス向上のための社会保障・税番号制度対応事業及びコンビニエンスストア証明発行導入事業 などをを行います。

『**その他の主要事業**』においては、

・都市構造の集約化により行政コストの削減を図る立地適正化計画策定事業を行います。

以上、健全な財政基盤に配慮しながら、多くの事業について予算計上を行い、市民の皆様方に信頼していただける市政運営となるよう、平成28年度当初予算を編成しました。